

フotonテクノロジー技術部会 講演要旨

開催日：2015年9月25日（金） <2015-2>

テーマ：「3Dシステムズ社製産業用3Dプリンターの開発動向」

講演者：野口信夫氏（キヤノンマーケティングジャパン(株) 産業機器販売事業部
生産革新機器営業部 技術課 課長代理)

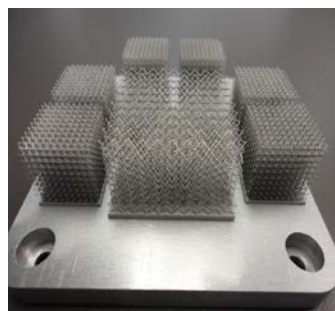
ものづくりの在り方を変える手法として3Dプリンターの適用が世の注目を集めている。特に製造現場では産業用3Dプリンターに分類される、生産性に優れた高精度の3Dプリンターが求められる。またこれら産業用途では、装置故障によるダウンタイムを低減する為の保守体制も重要になってくる。

当社では2013年に3Dシステムズ社の各種3Dプリンターの取り扱いを開始した。特に産業用樹脂プリンター・金属プリンターは装置販売に留まらず、装置の保守活動や造形の技術相談も担い、安心して製造現場で使用できる環境を提供している。

今回の講演では、まず初めに造形サンプルの実物を紹介しながら、産業用樹脂プリンター・金属プリンターの機能や性能の解説を行った。引き続き、産業用金属プリンターのニーズと装置の技術的な開発同行を多角的に解説し、航空宇宙向け部品や金型などの具体的なアプリケーション事例を紹介した。



図1 キヤノンマーケティングジャパン株式会社の取り扱い3Dプリンターの紹介



ラティス構造(100 μm/140 μm径)



微細パーツ組み合わせ

図2 アプリケーション紹介 高精細造形の例